



@幸せな贈り物

神様の子どもに なるということは…

**価値と理由を分かれば、いのちもかけられる幸せ
それがまさに神様の子どもの特権です。**

アパートのエレベーターで、ひとりの中学生に会いました。

「勉強するのは楽しい?」「ううん、勉強するのは大変で死にそうだよ」

「そうなのか。それなら君が1時間勉強する時ごとに10万円ずつあげるとすれば、どのように勉強する?」

「それなら、最善を尽くして喜んでするでしょうね」

「それなら、10年後、20年後に今、君がしている勉強が10万円を持ってくるのか、100万円を持ってくるかもしれないのに…よく考えてごらん。いっしょに勉強した子たちが、なぜ10年、20年後の人生で大きな違いが生じるのか…」

その子の目つきが変わります。

「それで、君の今日が重要なんだ。どうせ勉強するなら、がんばらずに、人生の未来を考えながら幸せな勉強をしなさい。結局、勉強は誰かのためのことではなくて、君の幸せのためのものであるから…ところで、一人でしようとするから大変なのだろう。それで、人はともにする奥義がなければならぬんだよ。もし、とても立派な人といつもともにいたら、君の人生もすばらしくなるよ。そして、この紙を見てごらん。だれでも破れる紙だけれど、これが壁につく瞬間、だれも破ることができなくなるだろう。その大きい背景が君とともにあるようになったら、君は必ず勝利するようになるよ」

その子との短い出会いでしたが、たしかに考えは変わったようでした。

同じアパートに住んでいるので、続けて会って、その出会いの中でこの子は自分の人生の最高大きい背景を発見して、今日も幸せな勉強をしています。ある日夕方、自転車に乗って塾に行くその子が、私を見つけて戻って挨拶をして行きます。

そしてエレベーターで会った、その子の両親が挨拶をします。



「私たちの息子が変わりました。ありがとうございます」
その子が回復した人生の最高の背景、まさに神様の子どもになったのです。

いったい神様の子どもになるということは何の話でしょうか

神様の子どもになったということは、どんな人間も解決できない 3 つの根本問題を「イエス・キリスト」を通じて解決されたということです。

人間が解決できない根本問題は次のとおりです。

- ①神様とともにいなければならない人間が、サタンという霊的存在の策略にだまされて神様を離れるようになりしました。魚が水を離れたように、人間には飢え渴きと不幸が訪ねてき始めました。それで、神様はもう一度神様に会える道を開いてくださったのです。その道がまさにまことの預言者であるイエス・キリストです。
- ②神様を離れた人間は、どこのだれも例外なく、罪の奴隷になって理由のない呪いと災いの中に陥るようになりしました。この呪いと災いの問題を解決するために、神様はまことの祭司であるイエス・キリストを送ってくださり、十字架で人間が解決できないすべての罪と呪いを一気にあがなってくださいました。過去、現在、未来のすべての罪から救い出して、解放してくださり、まことの自由と喜びをくださったのです。
- ③神様を離れた人間に差しせまってくる理解できない霊的問題と不幸の背後には、必ずサタン（悪魔）の働きが隠されています。それで、神様はまことの王であるイエス・キリストを送ってくださって人間の霊的問題を解決して、サタンの権威から人間が解放される道を開いてくださいました。このイエス・キリストを信じる瞬間、神様の子どもになります。そして、神様の子どもになった身分と権威と祝福を味わいながら勝利する人生を生きていくようになるのです。

はかり知れない神様の子どもになった祝福は次のとおりです。

- ①イエス・キリストを信じて救われる瞬間、創造主の神様、全能なる神様が永遠にともにおいてくださる神様の子どもになります。
 - ②神様の子どもといつともにおられる神様は、すべての問題と事件、できごと、出会いの中でも勝利と祝福の道に導いてくださいます。そして、聖霊で私の心と考えを守って、まことの平安の中で主の計画とみこころを成し遂げられます。
 - ③特別に神様の子どもがイエス・キリストの御名で祈る時ごとに答えてくださり、私と私の家庭と子ども、産業と生活の現場に毎日新しい力を与えてくださり、祝福の門を開けてくださいます。
 - ④そして、私の力と関係なく、天と地のすべての権威を持たれたイエス・キリストの御名で暗やみの勢力（サタン）と霊的戦いで勝つように働いてくださいます。今、この時間にもイエス・キリストの御名を呼ぶとき、暗やみの勢力は縛られて離れるようになっています。
 - ⑤神様の子どもが祈るときごとに主の御使いが送られて私の祈りが神様の御座の前に運ばれ、私が危機に出会うときや弱いとき、主の御使いを送って私を守って保護してくださいます。
 - ⑥神様の子どもがこの世に生きていく間、生活の現場で天国（神の国）の霊的背景と祝福を味わうようにさせていただきます。
 - ⑦結局、神様の子どもになった私を通して家庭を生かして、家系を生かして、現場を生かして、世界を生かす最高の価値ある人生に、その人生を祝福してくださいます。
- 人は自分のアイデンティティーが何であり、だれとともにいて、どんな背景を持って生きるかが人生の未来を決めると言われています。
- 人間の永遠な幸せを望んでおられる神様。その方がイエス・キリストを通して私にくださる神様の子どもになる身分と祝福が、私の人生のアイデンティティーになって背景になったら、あなたはまちがいなく最高に幸せな人生の主人公です。それが神様の願いです。

愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているように
すべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。(Ⅲヨハネ 1:2)

命に至る悔い改め

一般的にウェストミンスター信仰告白書は、キリスト教（長老教）が告白する信仰の内容とその基準を言います。1517年宗教改革後、英国ウェストミンスターで神学者と牧会者代表が集まって正しい聖書的信仰観と信仰告白内容を整頓して確立して、神様が喜ばれる教会を正しく立てて行くために数年の会議のあと、1647年に完成および整理したキリスト教信仰告白書です。この信仰告白書を教育しやすいように問答形式で作ったのが〈ウェストミンスター小教理問答〉です。

小教理問答 87 問を見れば「命に至る悔い改めとは、何ですか。」答えは「命に至る悔い改めも、救いの恵みです。それによって罪人は、自分の罪をほんとうに自覚しキリストにある神のあわれみを理解して、自分の罪を歎き憎みつつ、罪から神へと立ち帰り、新しい服従をはっきりと目差し努力するようになるのです。」とされています。

聖書ヨナ書 3 章 10 節に、神様は絶対にもみころを変えられないのに、悔い改めるときに思い直されると言われています。ヨブ記 23 章にも神様のみみころをだれも変えることはできないと言われました。ところで、私たちが悔い改めるとき、神様がみみころを思い直されると言われました。このように、とてもすばらしい祝福を与えられたのに、なぜ受けられないのでしょうか。私たちが悔い改めないからです。ルカ 15 章 11～32 節を見れば、放蕩息子のたとえが出てきます。放蕩息子が何をしたとしても、お父さんのところに戻ったとき、叱責も一度もされず、お父さんは息子を歓迎しました。それが神様の心です。

それでは、どんな罪とどんなことを悔い改めなければなりません。罪の中で一番大きい罪は神様を信じないことです。それなら、一番大きい罪は神様に会う道になる福音に反対する罪が一番大きい罪になります。これを悔い改めなければなりません。神様は人間がサタンにだまされて、悪魔の奴隷として滅びの中にどんどん陥っていくことに対してなげかれ、人間を救い出そうという情念（ハン）を持っておられます。それで、人間に神様に会う道となり、すべての罪と呪いから解放される道になって、サタンという霊的存在と地獄の権威から解放される道となられた「イエス・キリスト」（福音）を送ってくださって、その事実を信じる人が永遠な神様の子どもになる祝福を味わうようにしていただきました。ですから、このような神様の愛と恵みを知らないことが最も大きい罪です。また、福音を信じているのに、誤った人間主義、律法主義、神秘主義を持って福音を味わえないのも罪で、福音を防ぐのも罪で、福音を知らないようにするのも大きい罪です。

そして、生活の中にどんな自分が犯す罪も考えてみななければなりません。私たちの生活を神様の前で生きていくとき、はじめて人間は罪を越える神様の子ども祝福を持って世の中を生かして勝利する生活を生きていくようになるのです。この福音の祝福を次世代の胸に根をおろすようにさせて全世界を生かすようにするのが私たちの本分です。

その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。ヨハネ 17:3

神様の子どもになる

受け入れの祈り

愛の父なる神様。私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してくださったキリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子ども

毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

未来を生きる知恵

人は野菜とともに動物のからだを食べることによって力と健康を維持するが、特に牛や羊の乳を飲んで子どもにも飲ませる。ある者は、このごろ子どもたちが青少年期になれば、両親に反抗する理由は、母乳で育てないで牛乳を飲んで育て牛のように後足で砂をかけるのだということだ。

ある人が伝えてくれたおもしろい話がある。新婚夫婦に初めての赤ん坊が産まれた。自分の子どもは誰がなん

と言っても特別によく育てたいのは当然の心であろう。それで天才に育てたくて、決心してアインシュタイン牛乳を飲ませた。ところで、幼稚園に送って見たら、賢いと思える子どもたちが多くて、天才にはなれそうになかった。それでソウル大にでも送らなければならぬように思って、ソウル牛乳を飲ませた。小学校に送ったら、実力がなくて、ヨンセ大にでも送ろうとヨンセ牛乳を飲ませた。中学校に行ってみると点数が取れなくて、コンクク大に送らなければならぬように思えたので、コンクク牛乳を飲ませた。高等学校に上がってみたら、点数がさらに足りなくて、地方大にでも必ず送るべきだとの覚悟で低脂肪牛乳に変えて飲ませたという笑い話であった。

牛乳会社ごとに名を連ねて健康に有益な牛乳を生産して、国民の健康を責任を負おうとする努力をしているので、自分の好みによって食品を選択すれば良い。飲むことで影響されるのなら、誰でも合格牛乳を作れば良いのだが、現実はそのではないのだ。食べ物と健康は相互関係を持っている。体質に合う食品と適度な運動と呼吸が合うとき、健康になる。人は肉体だけ持っている存在でなく、霊的存在だ。誰でも一度は、はたして自分がどこからきて、どこへ行くかを心配する。自殺を試みる人も、自分の未来を考えてみて葛藤して悩んで、道があるのにもかかわらず、答えを持った者に会うことができないの



で追い詰められた選択をするのだ。未来を生きる子どもの成功を願う親の心情がどれくらい切実だから、名前によって牛乳を飲ませるのだろうかと思う。

しかし、多様な牛乳を選択する親の純真なことは、他の見方をすれば、私たちの人生とあまりにも似ている。祝福の機会と可能性があるならば、あえて困難を選ぶ理由はない。人生は話すことができない危機があるが、神様は人生に休める機会と幸せに進む道を開い

ておかれた。ただし、その選択が人間にあるように見えるので葛藤だけするだけだ。その当時、最高の名誉と称賛を受けていた初代教会の使徒パウロは、すべての人が願うローマ市民権と、ユダヤ人最高の学問であるガマリエル門下生で、ヘブル学派の巨頭であった。それでも、彼は彼が習った学問の全てのもの、ローマ市民権の名誉の価値をすべて合わせたより、イエスがキリストである価値を完全に思った。彼は、結局、伝道者の隊列に立って、全てのをあきらめて、簡単ではない道を歩いたが、その名は今日までも崇高に記憶される。未来は必ず迫ってくる。私が描いた道で来ないのが問題だが、必ず明日は私たちの前に現れるようになる。どうせ迫ってくる未来ならば、ロトでも当たったらよいとロット牛乳を飲ませるのが能ではない。永遠な滅亡を完全に抜け出す永遠な救いが私たちに開いているので、ただ心を開いてイエス様をキリストとして受け入れれば良いのだ。どんな選択をしても後悔が従うが、完ぺきな救いには答えだけ続くのであるから、この楽しい招待を喜んで受けてくださることを願う。

チョン・ヒョングク（福音コラムニスト）

* 相談したい方はこちらまでどうぞ